

市民参加で次期総合計画を策定しています

地域の皆様からの意見を参考に次期総合計画を策定していくために、地域団体や公募市民、大学教授などの学識経験者により構成される「綾瀬市総合計画審議会」を組織して、検討を進めています。

平成31年2月には、第1回の総合計画審議会が開かれ、委員の方々の専門的な知識や生活している中で感じるご意見など、多くの意見が交わされました。

今後も、審議を継続するとともに、市民の皆様からの意見をいただける場などを設けながら、次期総合計画の計画案を取りまとめていきます。

取りまとめた計画案については、平成32年4月に、市民の皆様の見解を募集するパブリックコメントの実施を予定しています。策定経過は市のホームページで公開していきます。



今後も、市民の皆様と一緒に、計画づくりに取り組んでいきます

市の中堅・若手職員による特別チームが本市の未来を考え、活動しています

次期総合計画の策定に向けて、本市の次世代を担う中堅・若手職員の有志が集まり（愛称：かわせみ部会）、市の今後の在り方や、実施していく施策の調査・研究に取り組んでいます。

平成30年度は、本市が今後10年で進めていくべき重要な取り組みをプロジェクトとして検討するとともに、綾瀬市まちづくりカフェにおいて、参加市民と一緒に意見交換をしました。

平成31年度も引き続き、職員一丸となって次期総合計画を検討していきます。



写真：中堅・若手職員による次期総合計画の策定に向けた検討会議の様子

◆発行（問い合わせ先）：綾瀬市 経営企画部 企画課 政策経営担当

〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川 550 番地

電話番号：0467-70-5635 FAX：0467-70-5701

E-mail：wm.705635@city.ayase.kanagawa.jp



綾瀬市 まちづくりニュース

平成31年3月発行

市民のみなさんと本市の10年間のまちづくりの指針となる計画づくりを進めています

次期総合計画をつくるために検討

平成30年11月～平成31年1月にかけて、市民のみなさんと本市の中堅・若手職員が一緒になって、本市のこれからのまちづくりを考える「綾瀬市まちづくりカフェ」を開催しました。

本市のまちづくりの総合的な指針である総合計画『新時代 あやせプラン21』の計画期間が平成32年度（2021年3月まで）となっているため、平成33年度（2021年4月から）を初年度とする『次期総合計画』の策定に向けて検討を進めています。

この綾瀬市まちづくりカフェもその検討の一つであり、職員と市民のみなさんと綾瀬市の未来をつくる一歩でもあります。



写真：綾瀬市まちづくりカフェ後に参加者全員で撮った集合写真

総合計画とは？

本市の最上位の行政計画であり、本市をどのような「まち」にしていくのか、そのために誰が、どのようなことをしていくのかをまとめたものです。

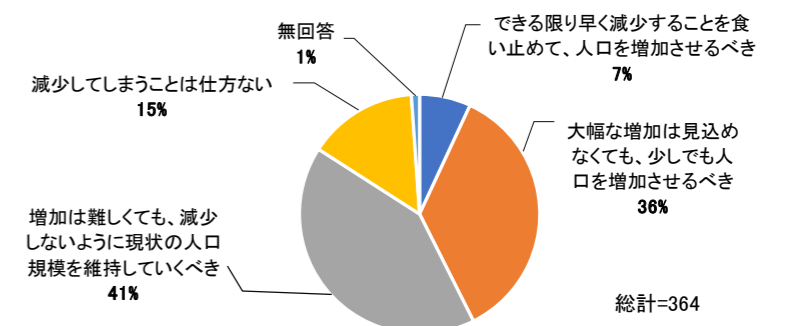
少子高齢化や人口減少といった社会環境が変化していく中、税収も減少していきます。次期総合計画の策定にあたっては、本市の未来を考え、何に力を注ぐべきか、本当に必要なものは何か、今まで以上に考えていく必要があると考えています。

市民アンケート調査の実施

平成30年9月に、1,000人を対象に市民アンケート調査を実施しました。現在検討を進めている将来の本市のあるべき姿やまちづくりで重視すべきことなどについて市民の皆様の声把握し、次期総合計画の策定の参考にさせていただきます。



図：現在の綾瀬市総合計画「新時代あやせプラン21」



グラフ：綾瀬市次期総合計画策定に関する市民アンケート調査抜粋「本市が人口減少に転じることについての考え」

綾瀬市まちづくりカフェで、本市の10年後の目指すまちの姿を考えました！

まちづくりカフェは綾瀬市に住み・働き・活動している人が、まちの好きなど、困っていること、良くしたいことなどについて、気軽に話し合える場です。若い世代から年配の方々まで、また、中堅・若手の職員も一緒になって、グループごとにテーブルを囲んで話し合いました。



グループワークでは、皆が真剣に聞き入っていました。

＜ワークショップで意見交換したテーマ＞

	テーマ	日時
第1回	総合計画について学ぼう！ 綾瀬市の良いところ、改善すべきところを考えよう！	平成30年11月 4日（日）
第2回	まちの将来像について考えよう！	平成30年12月15日（土）
第3回	将来像を実現するための重要な取組を考えよう！	平成31年 1月19日（土）

＜綾瀬市の良いところ、改善すべきところ＞

綾瀬市の良いところ

- ・アヤセは全体が自然の施設
- ・富士山が見える
- ・名物の綾瀬産とうもろこし
- ・緑が多いまち作りを心掛ける
- ・駅がナイことがいいことだ
- ・（政令市を除いて）県内で工場数が1位
- ・新・旧の方がいろいろいるのであいさつができる地域である
- ・子ども向けの行事がある(ミニあやせ)
- ・一人暮らしがしやすい
- ・横浜市、新宿など都心部、観光地に近い
- ・自治会の加入率が高い

綾瀬市の改善すべきところ

- ・公共交通機関の利便性に欠けている
- ・コミュニティバスの本数が少ない
- ・近場に楽しく遊べる公園が少ない
- ・地域に根づいているお店が少ない
- ・特産物のPR不足
- ・市外の観光客が来たがる場所がない
- ・市民同士の交流をする場がない
- ・働く場所が多くない
- ・市のHPに親しみがほしい（ほしい情報が少ない）
- ・定年の年齢が高くなる。地域で働いてくれる人はいなくなる



テーブルを囲んで、模造紙に意見・アイデアを出し合いました。その後、意見をグループごとにとりまとめて、発表を行いました。

＜綾瀬市まちづくりカフェで提案された「綾瀬市の10年後のまちの将来像」＞

班	目指すまちの姿	内容
1	移動が楽チンなまち	駅が無いことから、タクシーや車、自転車等の多様な移動手段を活用し、生活・地域経済の好循環を図る。
2	他市からも人が集まる魅力あるまち	畑などの自然の魅力を生かし、農業体験などを実施し、綾瀬市への来訪者にお金を落としてもらい、市の活性化を図る。
3	3世代が集う都市と田舎が共存するまち	世代が変わっても住み続けてもらうため、綾瀬市の良さを残し、それぞれの世代が求めるバランスの取れたまちづくりを目指す。
4	みんなでものづくりのまち	産業活性化で豊かなまちになるため、気軽に購入できる工業製品の開発や後継者の育成など、ものづくりのまちとして魅力を高める。

グループごとにとりまとめた意見



＜参加者の感想＞

観光地化を考えることで、皆が楽しくなる気がしました。（40歳代、女性）

3回参加して、この先に今回の話し合いで出たことがどのように実現できるか楽しみです。色々な意見が聞ける機会は楽しいと思いました。（20歳代、女性）

日頃の声が出せて良かった。（70歳以上、男性）

3世代が集い、都市と田舎が共存すると素晴らしいまちになると強く感じました！！（40歳代、男性）

皆さんそれぞれに色々な意見が出て、個人的にもとても有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。（70歳以上、女性）

話が深まって楽しめました。3回の構成の流れが考えやすかったです。（20歳代、女性）

事前にお題を与え、考えてもらう方が内容ある時間（検討案）となる。もっとリラックスした雰囲気（屋外で青空らしくカフェ）。年齢幅があった方が。学生さんのみという企画も！！（50歳代、男性）